

活動概要

①自然体験活動

「ギフチョウ・タガメの観察・飼育」

絶滅危惧種である「ギフチョウ」と、特定第二種国内希少野生動植物種に指定されている「タガメ」の生息環境を守り続けるため、地域で希少動植物の保護活動をされている方の指導を受けながら、3・4年生が中心となって飼育・観察活動をしている。



「もち米づくり」

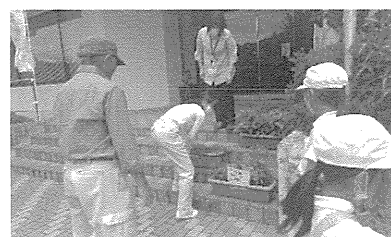
粃まきから育苗、田植え、稲刈り、稲こぎまで、地域の方に教えていただきながら、全校児童で取り組んでいる。

育苗期間の水やり、田植えから稲刈りまでの水管理や除草は、5・6年生が行った。収穫したもち米は、収穫祭「やしろフェスティバル」の中で、地域の方と一緒に餅つきをして、昼食のきな粉餅として参加者の皆さんに振舞った。地域の方々の協力に感謝し、ともに収穫の喜びを味わうことのできる貴重な学習となっている。



「花いっぱい大作戦」

学校と地域とのつながりを大切にする活動として、花や畑づくりのベテランである地域の方々に教えていただきながら、月に1回、花壇整備や野菜作り、清掃活動などを行っている。地域の公共機関等にも、種から育てた花を持っていき、一緒に育てていただいている。



②自然調査活動

「水辺の教室」



専門家の指導のもと、八代の川の水生生物の生息状況を調べ、ナベヅルにとって望ましい水環境が保持されているかどうかを、継続調査、研究している。

また、八代地域ならではの自然体験活動をより多くの子どもたちにも体験してほしいとの思いから、市内の小学生や園児にも呼びかけており、今年度は10名の参加があった。

ナベヅルの餌場周辺の生物採取を行い、採取した水生生物の同定・観察をした結果、八代の水環境は良好に保たれていることが分かった。事前に地域教育会関係の方が活動場所の草刈りや会場準備をしてくださり、当日も参加者が安全に楽しく採取できるように見守っていただいたおかげで、安心して調査活動に取り組むことができた。

「ナベヅル・野鳥観察会」

八代に渡来するナベヅルや、八代小学校とその周辺で見られる野鳥を観察することを通して、八代の自然の豊かさにふれ、自然環境を大切にしようとする心を育てることをねらいとしている。

「水辺の教室」と同様、市内の小学生にも参加を呼びかけており、今年度は5名の参加があった。当日は、専門家から子どもたちの質問に応える形で、鳥の生態や観察の仕方などを教えていただいた。

フィールドワークでは、15種類の野鳥を観察することができ、子どもたちは、八代の豊かな自然のすばらしさを実感するとともに、「もっと観察したい」と調査への意欲を高めていた。



③自然保護活動

「ねぐら整備」「ツルよ来い来い集会」「藁のうづくり」

八代にナベヅルが渡来する時期を前に、地域の方々と一緒にナベヅルを迎える準備を進めている。

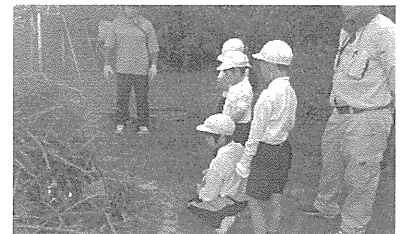
「ねぐら整備」では、小学生は野鶴監視所の掃除を担当し、見学に来られる方が気持ちよく過ごせるようにと、拭き掃除や窓磨きを行った。「ツルよ来い来い集会」は、全児童がナベヅルのことを思い、守っていこうという心情と意欲を高めるために行っている。歌い継がれている「八代の里の物語」の合唱奏に始まり、HPで呼びかけたナベヅル渡来日予想の集計発表、全校児童で「つる来いコール」を行った。後日、籾から育てた稲の脱穀後の藁を使い、地域の方に教えていただきながら、ナベヅルの餌場周辺で一緒に「藁のう」を作り、ナベヅルの渡来を心待ちにした。



④地域活動

「やしろ焼づくり」

八代の土を使った「やしろ焼づくり」に、全校で取り組んだ。夏休み登校日に1・2年生が土集めをして水を入れた後、粘土層から陶芸に使う土を取り出した。その土を使って、2学期の始業式後に全校児童で粘土作りをし、参観授業で保護者と一緒に成形をした。成形した作品を乾燥させる期間中に素焼きに使う薪を協力して集め、市教委担当者指導のもと、学校運営協議会委員にも協力をいただき、たき火での素焼きにチャレンジした。完成した作品は、10月末に地域で開催された「八代地区文化作品展」と、11月の収穫祭「やしろフェスティバル」で展示した。



「やしろフェスティバル」

一年の収穫を地域の方と祝う「収穫祭」として行っている。児童が生活科や総合的な学習の時間に八代のまちや自然環境などについて調べたこと発表したり、工夫を凝らして出店の準備をしたりして来場者をお迎えし、保護者、八代地域の方々との交流を深めた。



前日準備では、地域の方を講師に生け花教室を行い、自分たちで作った牛乳パックの花器に、集めたすすきなどの秋の植物を飾り、会場に“八代の秋”コーナーを作った。

当日は、午前部の部として、体育館で学習発表と地域の方の音楽発表があり、その後、学校田で育てたもち米を使って地域の方と一緒に餅つきや餅もみをした。つくたての餅はきな粉餅にして、「花いっぱい大作戦」で育てたサツマイモや人参を使った保護者手作りの豚汁と一緒に参加者全員に振舞った。



午後の部は、地域の加工所で作られたパン、果樹園の果物、手芸品や木工品の展示・販売体験や、児童が考えて準備したゲームコーナーなどのお店を開いた。やしろ焼の展示やフィナーレの餅まきとともに、保護者や地域の方々楽しんでいただいた。

「松かさつる工作」

「ふるさと八代」に誇りをもち、八代地域の伝統や思いを受け継いでいく心情を育てるため、地域の方を講師に、八代の伝統工芸品「松かさつる」を全校で製作している。

